

K3 各期たより



I. 第3回全国集会開催

KBSを卒業以来、はや38年。皆それなりに年を重ね、夫々がそろそろ経年疲労を訴えるトシになった。

我々K3期生は、1971年9月16日に日吉学生会館で入学式を行った。

その後、約10ヶ月のKBS修行を終えて、1972年6月19日、20日、伊豆下田プリンスホテルの卒業合宿とパーティーを最後に旅立った。

パーティーの席上、我がKBS3期生56名をもじって、会の名前を「サンゴロー会」と命名して以来、まもなく40年。ほとんどのメンバーが「イーブン・デイ」を過ぎたことになる。

先の2010年7月3日、日吉キャンパス内の「ファカルティー・ラウンジ」で第3回目となる「サンゴロー全国集会」を行った。

既に10年前、きりの良い2000年に、卒業時に製作したタイムカプセルオープンを目玉として40名を越える仲間が集まった経過がある。その折は、新校舎の地中深く埋められたカプセルを残念ながら見つけることが出来なかった。当時の小野校長先生の陣頭指揮で小型ユンボを使ってまで探して頂いたのだが、結局発見出来なかった悔しい思い出が残った。

今回はその2000年の集会の際に製作した「第2次タイムアタッシュケース」のオープンセレモニーを無事に実行出来た。ケースは現校長の河野先生のご好意で、なんと新校舎のショーケース内に保管頂いていたのだ。

久しぶりに集まったメンバーは夫人を含めて全国から24名。それに当時お世話になった3名の先生にもご参加頂いた。真に遺憾ながら、サンゴローメンバーのうち4名が亡くなった。実に寂しい限りだが我々の心の中では今でも356と確認して偲んだ。

当日は、渡部ビジネススクール事務長先導による新校舎内見学の後、河野校長先生からの祝賀メッセージを秘書の藤尾さんが代読、差し入れて頂いたシャンパンで乾杯してパーティーが始まった。タイムケースのオープンや次回のために「サンゴロー会特製Tシャツ」に参加者全員のメッセージとサイン、全員記念写真撮影などの楽しく騒がしい3時間を、曾根氏の名司会で過ごすことが出来、まずは大成功であったと思う。



準備段階では、関堀氏を実行委員長とし、青山氏、相馬氏、平沢氏と小生等で進めたが、40年近く経過するとまずは名簿・住所の確認が大変だった。

東京以外在住でもほとんどのメンバーは何らかの連絡が取れているが、数名が判明出来ずに苦勞した。丁度、KBSサイドでは卒業生の「慶応義塾」塾員登録の作業が行われており、藤尾秘書から小生への問い合わせ確認を展開中だったのが幸いし、ご協力により不明者のかなりが確認出来た。

藤尾秘書にはこの名簿作成から始まって当日までの準備やタイムケースの確認、校長先生や事務局との連絡のほか、当日は会場に詰めて頂いて、なにからなにまでお手伝い願った。KBSの後輩という気安さからお願いしてしまっただが、本当にお世話になりました。

河野校長先生、渡部事務長、藤尾秘書嬢、有難うございました。

さて次回だが、皆それぞれ経年疲労も出始めたので10年後ではなく5年後の2015年に第4回を開催することとした。みんな元気で笑顔でまた会いましょう。今回製作のタイムケースは盛りだくさんですぞ。

II. サンゴロー勉強会と2010年度忘年会

1971年に卒業以来、在京の有志による勉強会をほとんど毎月都内のレストランなどで夕食を取りながら、ズーと40年近く続けている。KBS在校はわずか10ヶ月だったので、その後の勉強会の成果は実に大きい。参加メンバーが持ち回りで適当なテーマを選んで調べたことなどを報告して議論する。直近の政治、経済などの時事問題や、貴重な経験談なども話題となり、時折はゲストも呼ぶこともある。1回の費用が各自5千円相当なのですでにKBSの授業料以上の投資となるがきちんと元は取れていると参加者は認識している。

2010年度は7回実施。「政権交代」のテーマでは菅総理側近がゲストスピーカーだったこともあって17名が出席した。

毎年12月は各人の近況報告を兼ねての忘年会が恒例となっており、先の12月3日、三田のNEC芝クラブに13名が集まって今年を締めた。

あっという間の3時間。暖かい夜だったので2次会、3次会もあった由。

幸い、飲んで暴れるほどのメンバーはいないので、TVには出ない。

(会長 大野慎一 記)

< K 7 だより >

今年の K 7 同期会が終了しました

野々垣 顕 彦 (藤枝ゼミ)

今年の K 7 同期会は 11 月 12 日 (金)、品川高輪和彊館にて 25 人が参加して賑やかに行われました。幹事をされた古川ゼミの水野さん、柳原ゼミの広田さん、嶋口ゼミの島田さん、また万年会計の王子さんに厚くお礼申し上げます。

今回はゴルフはやりませんでした。多分、今後も実施されないと思います。

来年の幹事は小野ゼミの秦泉寺さん、関本ゼミの伊藤さんをお願いすることとなり、平成 23 年 11 月 11 日 (金)、品川高輪和彊館にて開催、と決まりました。また、大勢の方のご参加をお待ちしています。

< 名古屋会合の計画について >

席上、来年 3 月、名古屋で焼き鳥屋をやっている藤枝ゼミ武井さんの店を訪問して、翌日、ゴルフをするという計画が持ち上がりました。

初日、平成 23 年 3 月某日夜 = 焼き鳥「たけ井」(名古屋市中区)で会食
翌日、ゴルフ(コース未定)

幹事の広田さんから、後日、ご案内がありますので奮ってご参加下さい。



M8 同期会

廣瀬 壽美

M8では、KBS卒業20年を契機に年2回同期会を開催しています。

今年は、ファイザー株式会社の社長に就任されました梅田さんの社長就任祝いを兼ねまして、表参道のカフェ オール・エ・ダン（同期会会長の堀さんが社長を勤められるポッカコーポレーションさんのお店です。表参道ヒルズの隣ですので是非お立ち寄り下さい）で2月5日（金）に開催しました。

今回は、シンガポールより木村さん、福岡から曾根さん、山形から高橋さん、新潟から小林さん等遠方よりご参加いただいた方、東京に戻られました村田さん、村井さん等久しぶりに参加された方をはじめとして総勢30名近くの参加があり賑やかな会となりました。

既にお孫さんがいらっしゃる方、若くて美人の奥様と再婚された方、会社を定年退職され第二の人生を歩かれている方等々近況報告に加え、昔話にも花を咲かせて楽しい時間を過ごしました。



各期日より M13

早いもので、M13期は2010年でKBS 入学20周年(卒業後 18 周年)を迎えました。今年はM13が同窓会の会長を引き受けており、高尾さんが会長、佐々木さんが副会長に就任、その他大勢の幹事がサポートしております。

近況報告としては新しい日吉校舎の KBS クラスルームにて去る 4 月 3 日(土)に有志が「企業戦略研究会」と称して勉強会を開催しました。講師は M13 で最も尊敬され、かつ最年長メンバーでもある藤井浩二さんに依頼をしました。(藤井さんは、20 年前の KBS 入学試験の際、面談で某マーケティング担当教授に「終わった人材はいらない」と言われた際、果敢に反撃し、50歳代にて入学を許可され、勤務先のリクルート社では「伝説のトレーナー」と言われている方です。)

さて、勉強会の題材はもたざる経営で知られるミスミグループ本社、もちろん KBS 作成のケースです。参加メンバーは、M13きっての会計や財務の専門家、そして著名企業の第一線にて活躍する面々です。(参加者名:佐々木、丸森、内藤、坂巻、末松、紀谷、蔵元、井澤、阿部、藤井、高尾、北上、園、横手、そして KBS 事務局 M28の藤尾さん)米国に赴任になった奥様に伴って渡米していた井澤さんも帰任して参加という懐かしい顔ぶれとなりました。全員ケース代の費用を払って、真剣に討議を行いました。あらゆる経営分析が終わったところで、「成功要因についてなぜ誰もリーダーとは言わないのか?」と藤井さんの一言。。それを言うてはおしまいと思って逆に我慢していた人事出身の自分としては苦笑。毎回気付きや発見があった昔の教室風景を思い出しました。そして、久しぶりに?頭を使った後は、もちろん飲み会。「たつ吉」にて、当時のように見境なくなるまで飲んだメンバーも若干あり。そして、泥酔状態にも関わらず2次会に繰り出したメンバーもおりタクシーでご帰宅とのこと。翌日が日曜日によかったですね。



悲しいニュースとしては、M13 同期の大花朋広さんが、5月31日に逝去されました。大花さんは長い闘病生活を過ごしておられ、ご自身とご家族が一緒になって苦難に向き合い、生きるため戦ってこられました。大花ちゃん、よく頑張ったね。大花さんの人生に敬意を表し合掌。

文責:横手仁美

M18 期同窓会、日吉新校舎で開催

卒業 13年目を経過した本年、久しぶりに M18 期同窓会を 4 月 24 日(土)夕方に日吉キャンパスにて開催いたしました。参加した仲間からは「前回はいつだったっけ?」といった発現が出るくらい久方ぶりの開催です。今回は同期の約半分(48 名)が参加するといった高い出席率のもと行われました。遠方からの参加者もあり、出張を兼ねてアメリカからやこの会のために九州から参加した仲間もいました。

同窓会に先立って KBS 事務室の皆様にもご協力頂いてビジネススクール新校舎内を見学させて頂きました。立派な校舎に参加者一同驚きを隠せない様子で、図書館では自分達の修士論文を見つけては苦勞して論文をまとめた時期を思い起こして感動していた仲間もいました。校舎見学の最後には数多くのケーススタディのディスカッションを行ってきた仲間達と当時を思い出しながら教室での記念撮影を行いました。

校舎見学後は HUB 日吉店で会食を行い、参加者全員が久しぶりに会った仲間の近況を報告しあったり、残念ながら参加できなかった仲間の話題で盛り上がったりで、時間が経つ事も忘れ、「会話が最高のご馳走」とばかりに食事もほどほどに会話に熱中していました。あらかじめ準備していた 2 次会も参加者の多くがそのまま参加して、当初予定の人数を大幅にオーバーして窮屈な場所での 2 次会開催といったうれしい誤算の一面もありました。参加者からは「これからは定期的で開催しよう」「次の幹事は誰にしよう」「次はいつ行おうか」といった発言もあり、盛況裡に会を終了いたしました。その晩は 2 次会だけでは飽き足らずに日吉の夜の続く限り会を続けた仲間も数多く居たようでした。



近況報告 M30 裴 英洙

同窓会の皆様、はじめまして。M30 の裴 英洙(はいえいしゅ)と申します。KBSを卒業してはや一年少しが経ちました。学友達と論じ合った日々や教官に厳しく指導されたことを懐かしく感じ始めています。

私は在学中に医療系コンサルティング会社「メディファーム株式会社」を立ち上げ、現在はその経営にKBSで得た知識・経験をフル活用しております。

KBS入学前は、外科医と病理医をしており、医学博士号を取得後、市中病院にて勤務しておりました。その際に感じた病院経営の非効率性やマネジメントの乏しさからくる経営悪化を何とかしたい、との思いからKBSの門を叩きました。KBS入学後は田中滋教授の研究室に入り、医療政策・病院経営に関してご指導を頂きました。そして、KBS二年次に同期の小林正宗(こばやしまさむね)君とメディファーム株式会社を立ち上げました。現在、医師として勤務しつつ、その臨床現場の経験を活かした医療機関再生コンサルティング業務、ヘルスケア関連コンサルティング業務を行っております。



医療機関再生コンサルティング業務としては、私が臨床現場に立ちながら医療スタッフの組織運営にあたりつつ経営問題を解決していく、“ハンズオン型コンサルティング”を行っております。プロフェッショナルの集合体である医療機関では、現場との融合なしにはベストソリューションは生まれず、との経験からハンズオン型スタイルを採っております。また、ヘルスケア関連コンサルティングとしては、バイオベンチャーの経営支援、医療・介護系NPOや公益法人の運営支援、ヘルスケア商品の開発支援、医療関連記事の執筆・出版支援等、多岐に渡っております。ヘルスケア業界はますます市場が拡大し、そのすそ野が広がってきており、臨床現場と企業とをつなぐ橋渡しの存在として様々な方面からお声かけを頂いております。このように、医療を取り巻く情報格差を是正することをミッションとし、“医療の翻訳家”的な役割を果たすことを目指しています。



もちろん、若いベンチャーならではの、カネナシ・ヒトナシ・コネナシの荒波に揉まれております。しかし、KBSスピリッツを胸に、大胆かつ慎重に、日本の、そして世界の医療のために貢献していきたいと思っております。

また、社会起業家や社会起業家志望者を対象に「社会イノベーション研究会」を開催しております。

す。これはKBS同期の田原慎介(たはらしんすけ)君と一緒に主催する月例勉強会です。社会起業家のための情報交換と経営能力を磨くための会であり、毎回、社会起業家に関するケースディスカッションを行い、熱い議論を繰り広げております。

さらに、藤田保健衛生大学医学部客員講師、静岡産業大学経営学部客員講師を拝命し、若手育成のお手伝いをさせて頂いております。また、NPO法人乳がん患者会「わかば会」理事としてがん患者を取り巻く状況の改善に取り組んだり、ジョンソンエンドジョンソン株式会社のMedical Affairs(医学監査役)として、医療機器開発支援や医療関係者教育のお手伝いもさせて頂いております。

若いベンチャー企業ではありますが、機動性とチャレンジ精神を最大限に活かしてKBS卒業生の名に恥じぬよう、全力を尽くしていきたいと思っております。これからも諸先輩方の熱く厳しいご指導・ご鞭撻を賜りたく存じております。よろしくお願い申し上げます。